



日本学士院 客員選定 記念講演会

聴講無料
事前申込制

会場とオンラインにて同時開催

2023年4月19日 [水] 午後2:00~4:45

日本学士院会館

〒110-0007
東京都台東区上野公園7-32
(裏面に案内図がございます。)

定員

会場75名 (先着順)
オンライン300名 (先着順)

英語講演
同時通訳付き

詳細は裏面をご覧ください>>

01

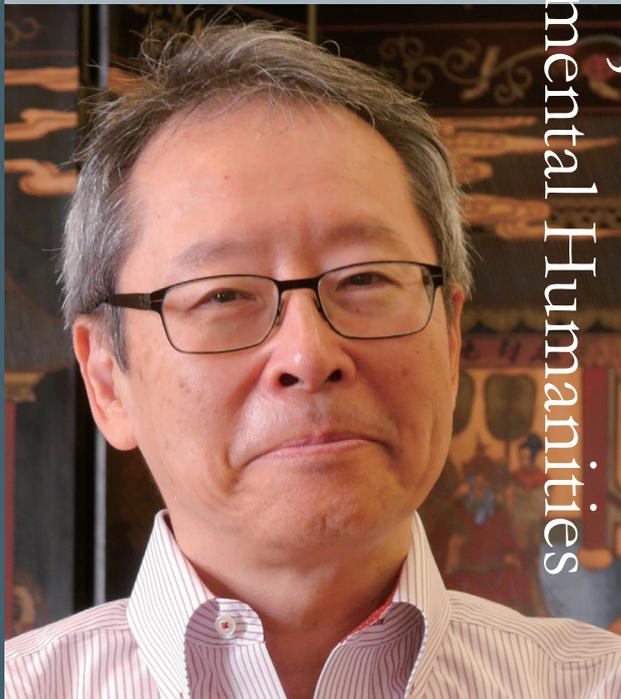
動物、災害、山

—環境人文学再考

ハルオ・シラネ 客員

現職: コロンビア大学教授、
東京大学東京カレッジ特任教授
専門: 日本文学
司会: 掛斐 高 (日本学士院会員)

Haruo Shirane



Animals, Disasters, and Mountains:
Rethinking Environmental Humanities

02 文学と イノベーション

アントワヌ・コンパニオン 客員

現職: アカデミー・フランセーズ会員、コロンビア大学教授、
コレージュ・ド・フランス名誉教授
専門: フランス文学、一般・比較文学
司会: 高田康成 (日本学士院会員)

Literature and Innovation
Antoine Compagnon

会場での参加を
ご希望の方はコチラから



オンラインでの参加を
ご希望の方はコチラから



※新型コロナウイルス感染症の状況により、
開催方法の変更、中止となる場合がございます。

日本学士院客員 選定記念講演会

日本学士院では、わが国における学術の発達に関し、特別に功労のあった外国人研究者を日本学士院客員として選定しています。この度、アントワヌ・コンパニオン教授（アカデミー・フランセーズ会員、コロンビア大学教授、コレージュ・ド・フランス名誉教授）及びハルオ・シラネ教授（コロンビア大学教授、東京大学東京カレッジ特任教授）を本院客員に選定したことを記念し、講演会を開催いたします。また両氏の講演後、対談が予定されております。

講演要旨

講演1

講師：ハルオ・シラネ客員

動物、災害、山 ——環境人文学再考
Animals, Disasters, and Mountains:
Rethinking Environmental Humanities

日本文化において、人間と動物、人間と山とは、どのような関係にあるのでしょうか。そして自然災害との関係は？これらの複雑な関係は、現代にふさわしい環境倫理を生み出すためにどのように役立てることができるのでしょうか。本講演では、人間と人間以外のものの関係を再考する手段として、「災害・アフターライフ・再生のエコロジー」を提唱します。

講演2

講師：アントワヌ・コンパニオン客員

文学とイノベーション
Literature and Innovation

〈文学〉と〈イノベーション〉の相性は必ずしも良くありません。二つの語を並置するのは愚かしい、さらにはばかげていると思われるかもしれませんが。〈文学〉を論ずるのに、〈イノベーション〉を持ち出す意味はありうるのでしょうか。イノベーションは成長のための必要条件です。イノベーション無しには、いかなる成長もありません。こうして、イノベーションの概念は経済と不可分であり、芸術、文化そして文学とは調和しません。ミクロ経済学においても、マクロ経済学においても、イノベーションは、ヨーゼフ・シュンペーターの言い方によれば、〈創造的破壊〉に依存しています。それに対して、芸術において、我々が目指しているのは、過去、それも〈遺産〉と名付けられる過去を保存することです。デジタル革命は、文学と社会的要請としてのイノベーションとのあいだのミスマッチを激化させているように見えます。しかし本当にそうなのでしょうか？

申し込み方法（詳細）

1 会場 定員75名 [先着順]

4月17日（月）申込締め切り

会場での参加をご希望の方は下記URLよりお申込みください。チラシ表面のQRコードもご利用ください。
<https://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2023/031302.html>

2 オンライン 定員300名 [先着順]

下記URLよりお申し込みください。チラシ表面のQRコードもご利用ください。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_PwGDoGT8RGq2oGoJEv6Zhw

アクセス

※車での来場はご遠慮ください。

- JR上野駅公園口から徒歩3分
- 京成上野駅から徒歩8分
- 東京メトロ上野駅から徒歩8分

問合せ先

日本学士院事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 TEL: 03-3822-2101

